



平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	82,657	0.0	3,904	36.1	4,186	34.5	2,199	18.5
22年3月期第2四半期	82,618	2.0	2,868	47.4	3,112	45.5	1,855	79.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第2四半期	8.42	
22年3月期第2四半期	7.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第2四半期	131,930	52,493	39.4	199.27
22年3月期	128,547	52,585	40.5	199.41

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 52,035百万円 22年3月期 52,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期		0.00		6.00	6.00
23年3月期		0.00			
23年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	160,500	0.2	6,400	10.6	6,500	8.8	3,400	1.9	13.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、[添付資料] 4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む) 23年3月期2Q 270,948,848株 22年3月期 270,948,848株

期末自己株式数 23年3月期2Q 9,809,694株 22年3月期 9,783,077株

期中平均株式数 (四半期累計) 23年3月期2Q 261,149,137株 22年3月期2Q 262,909,588株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が前年並みに推移し、全体では826億5千7百万円と前年同期実績並みとなりました。

また損益面では、原材料価格の低下や生産効率の向上によって原価率が改善し、利益率の高い商品の売上が伸張したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ10億3千6百万円(36.1%)増益の39億4百万円、経常利益も前年同期実績に比べ10億7千4百万円(34.5%)増益の41億8千6百万円となりました。また、四半期純利益につきましても、21億9千9百万円と前年同期実績に比べ3億4千4百万円(18.5%)の増益となりました。

セグメントの第2四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。これによる事業区分へ与える影響は軽微なため、前年同期比較を行っております。

< 食料品製造事業 >

菓子部門

菓子部門は、主力ブランドの「森永ビスケット」が『午後の紅茶』ブランドとのコラボレーションや、母の日イベント等の取組みにより好調に推移しました。また、「チョコボール」も広告効果等により大きく伸張し、「おとと」と「小枝」は商品のリニューアルと広告効果等により前年並みに推移しました。それ以外のブランド群「ミルクキャラメル」「ダース」「ハイチュウ」は前年を下回りましたが、上記主力7ブランド全体では前年並みとなりました。しかし、その他商品が苦戦し、菓子部門全体の売上高は前年同期実績を下回りました。

食品部門

食品部門は、主力ブランドの「ミルクココア」を中心としたココアが前年並みとなり、食品部門全体の売上高は前年同期実績並みとなりました。

冷菓部門

冷菓部門は、夏の猛暑の影響もあり、主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」や「アイスボックス」を中心に好調に推移し、冷菓部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

健康部門

健康部門は、主力ブランドの「ウイダーinゼリー」が広告効果や新商品の導入により好調に推移し、通販事業「天使の健康」シリーズの「おいしいコラーゲンドリンク」も好調に推移したことで、健康部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は696億4百万円と前年同期実績に比べ0.2%の微増となりました。セグメント利益は31億9千6百万円と前年同期実績に比べ9億8千8百万円の増益となりました。

＜食料卸売及び飲食店事業＞

売上高は、食料卸売部門が好調に推移しましたが飲食店部門が苦戦し、事業全体で111億9千5百万円と前年同期実績に比べ1.5%減となりました。セグメント利益は2億8千2百万円と前年同期実績並みとなりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高はゴルフ事業が苦戦しましたが、不動産部門が増収となり、事業全体で15億5千7百万円と前年同期実績に比べ4.7%増となりました。セグメント利益は5億3千6百万円と前年同期実績に比べ8千万円の増益となりました。

＜その他の事業＞

売上高3億円、セグメント利益1億4百万円であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における総資産の残高は1,319億3千万円となり、前連結会計年度に比べ33億8千3百万円増加しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金や固定資産の有形固定資産の増加によるものであります。負債の残高は794億3千6百万円となり、前連結会計年度に比べ34億7千5百万円増加しております。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金や未払金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は1.1ポイント減少し39.4%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ18億4千7百万円増加し、116億6千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は55億1百万円と前年同四半期累計期間に比べ19億1千7百万円減少となりました。この主たる要因は、法人税等の支払額が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は12億7千1百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は23億7千4百万円となりました。これは主に短期借入金の返済と配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、平成22年5月11日発表の業績予想数値を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成22年11月4日)発表の「平成23年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、当社100%子会社の株式会社サンライズの当社保有全株式を平成22年11月1日に譲渡しました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益に与える影響は軽微であります。税金等調整前四半期純利益が95百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,568	10,830
受取手形及び売掛金	17,854	16,917
有価証券	110	-
商品及び製品	7,622	6,587
仕掛品	525	568
原材料及び貯蔵品	5,258	5,136
繰延税金資産	2,219	2,206
その他	4,227	4,269
貸倒引当金	11	16
流動資産合計	50,374	46,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,146	19,548
機械装置及び運搬具(純額)	11,381	12,311
土地	30,331	30,263
その他(純額)	3,700	1,837
有形固定資産合計	64,561	63,961
無形固定資産		
のれん	1,705	1,774
その他	430	434
無形固定資産合計	2,136	2,208
投資その他の資産		
投資有価証券	12,790	13,729
繰延税金資産	400	380
その他	1,750	1,849
貸倒引当金	82	83
投資その他の資産合計	14,858	15,876
固定資産合計	81,556	82,046
資産合計	131,930	128,547

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,165	14,043
短期借入金	553	1,252
未払金	8,818	7,764
未払法人税等	1,823	2,424
賞与引当金	2,445	2,078
その他	8,558	7,034
流動負債合計	38,365	34,596
固定負債		
長期借入金	23,206	23,141
繰延税金負債	2,845	3,192
退職給付引当金	6,819	6,847
役員退職慰労引当金	114	166
資産除去債務	120	-
受入敷金保証金	7,168	7,331
その他	797	685
固定負債合計	41,071	41,365
負債合計	79,436	75,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	16,221	15,588
自己株式	2,385	2,380
株主資本合計	49,634	49,007
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,005	3,580
繰延ヘッジ損益	51	12
為替換算調整勘定	552	521
評価・換算差額等合計	2,401	3,072
少数株主持分	457	505
純資産合計	52,493	52,585
負債純資産合計	131,930	128,547

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	82,618	82,657
売上原価	43,883	42,530
売上総利益	38,735	40,127
販売費及び一般管理費	35,866	36,223
営業利益	2,868	3,904
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	249	273
持分法による投資利益	2	11
その他	249	228
営業外収益合計	503	520
営業外費用		
支払利息	172	148
その他	87	89
営業外費用合計	260	238
経常利益	3,112	4,186
特別利益		
固定資産売却益	0	1
貸倒引当金戻入額	-	7
その他	11	14
特別利益合計	11	24
特別損失		
固定資産除売却損	122	127
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	94
その他	12	6
特別損失合計	134	228
税金等調整前四半期純利益	2,988	3,982
法人税、住民税及び事業税	1,653	1,743
法人税等調整額	522	31
法人税等合計	1,130	1,774
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,207
少数株主利益	1	7
四半期純利益	1,855	2,199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,988	3,982
減価償却費	2,552	2,439
のれん償却額	81	68
退職給付引当金の増減額(は減少)	50	27
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8	51
賞与引当金の増減額(は減少)	388	367
貸倒引当金の増減額(は減少)	27	5
受取利息及び受取配当金	252	279
支払利息	172	148
持分法による投資損益(は益)	2	11
投資有価証券売却損益(は益)	-	1
固定資産売却損益(は益)	21	26
固定資産除却損	100	99
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	94
売上債権の増減額(は増加)	349	954
たな卸資産の増減額(は増加)	419	1,125
仕入債務の増減額(は減少)	337	2,135
その他の流動資産の増減額(は増加)	627	18
その他の固定資産の増減額(は増加)	23	50
未払金の増減額(は減少)	206	1,056
その他の流動負債の増減額(は減少)	281	47
預り敷金及び保証金の増減額(は減少)	74	163
その他	15	4
小計	7,570	7,721
利息及び配当金の受取額	252	279
利息の支払額	189	155
法人税等の支払額	215	2,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,418	5,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	10	12
定期預金の払戻による収入	12	12
有形固定資産の取得による支出	1,086	1,402
有形固定資産の売却による収入	182	182
無形固定資産の取得による支出	12	9
投資有価証券の取得による支出	2	3
投資有価証券の売却による収入	3	3
貸付金の回収による収入	0	0
その他	67	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	979	1,271

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	2,790	691
長期借入れによる収入	-	165
長期借入金の返済による支出	91	90
自己株式の取得による支出	9	6
自己株式の売却による収入	0	1
配当金の支払額	1,577	1,566
少数株主への配当金の支払額	24	29
その他	85	155
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,579	2,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	7
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,876	1,847
現金及び現金同等物の期首残高	6,467	9,819
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）	28	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,372	11,667

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	食料品 製造	食料卸売 及び 飲食店	不動産 及び サービス	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	69,493	11,365	1,487	272	82,618	-	82,618
(2)セグメント間の内部売上高	1,863	639	63	39	2,606	(2,606)	-
計	71,356	12,004	1,551	312	85,225	(2,606)	82,618
営業利益	2,208	282	456	54	3,002	(133)	2,868

注1 事業区分の方法

当社の管理上の各部門及び各連結子会社のそれぞれをその主な事業により分類し、「日本標準産業分類」の大分類を参考にして区分しております。

2 各区分に属する主要な製品等の名称

食料品製造 菓子、食品、冷菓、健康(ゼリー飲料等)等の製造
食料卸売及び飲食店 業務用食品の卸売、食堂、レストラン等
不動産及びサービス 不動産取引、不動産賃貸、ゴルフ場等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、食料品製造を中心に事業活動を展開しております。なお、「食料品製造」、「食料卸売及び飲食店」、「不動産及びサービス」を報告セグメントとしております。

「食料品製造」セグメントは、菓子、食品、冷菓、ゼリー飲料等の製造を行っております。「食料卸売及び飲食店」セグメントは、業務用食品の卸売、食堂、レストラン経営を行っております。「不動産及びサービス」セグメントは、不動産売買、不動産賃貸業、ゴルフ場経営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	69,604	11,195	1,557	82,357	300	82,657	-	82,657
セグメント間の内部売上高	1,776	589	62	2,428	511	2,940	2,940	-
計	71,381	11,785	1,619	84,786	812	85,598	2,940	82,657
セグメント利益	3,196	282	536	4,015	104	4,119	215	3,904

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 215百万円には、セグメント間取引消去94百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用 163百万円、のれん償却額 68百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに
 帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。